

令和6年度職員採用試験（第1回社会人経験者）  
総合土木 専門記述試験（6.6.16）

次の2つの課題のうち、いずれか1つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○社会資本整備の推進について

近年、異常気象による大規模災害が全国的に頻発していること、また、県内人口の減少や少子化・高齢化の進行、デジタル技術の進展と普及、日常生活や経済活動の変容など、急速に進む社会情勢の変化も踏まえ、より一層スピード感を持って社会資本整備に取り組んでいく必要があります。

このような中、本県では、「社会資本未来プラン」を令和3年3月に策定し、本県における建設分野の課題に対応した効果的かつ効率的なインフラマネジメントを推進するために、次の5つの施策に取り組んでいるところです。

- ① 安全・安心を支える総合的な県土の強靱化
- ② 交流・連携を支えるネットワークの充実・強化
- ③ 魅力的で持続可能な社会を支える基盤形成
- ④ 社会資本の適切な維持管理の推進
- ⑤ デジタルトランスフォーメーションの推進

そこで、近年の社会情勢の変化等を踏まえ、今後の社会資本整備における課題を3つ挙げ、これらの課題に対して、本県の総合土木職としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

= 課 題 2 =

○スマート農業の実現に向けた農業生産基盤の整備について

人口減少や少子・高齢化の進行は、農産物の消費量減少だけでなく、農業従事者の減少にもつながることから、今後、本県の主な農業生産の場である中山間地域において、農業生産基盤や地域コミュニティの維持が困難になることが懸念されます。

このため、デジタル技術を活用したスマート農業※を推進し、持続可能な農林水産業の確立に取り組むことが必要です。

そこで、スマート農業の実現に向け、どの様な農業生産基盤の整備を進めていくべきか、またその効果について、あなたの考えを具体的に述べなさい。

※スマート農業：「ロボット技術や ICT を活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業」のこと